

びんごライフへの 5つのステップ

「U·Iターンしたい」と思っているけれど、まず何から取りかかればいいの？
そんな悩みや不安をもつあなたに、U·Iターンを成功させるための基本ステップを紹介。

START!!

STEP 1 自分なりの条件をリストアップ

まずは、なぜ自分がU·Iターンしたいのかを整理し、暮らしていくうえで重視する条件をリストアップしてみよう。Uターンの場合、地元にいる両親や友人などにも相談して、どんな生活を送りたいかを具体的に思い描いてみることで、Uターン後の暮らしがぐっと現実味を帯びてくる。



STEP 2 都会で情報収集するには?

気軽に行き来できる距離なら、何度か足を運んで、その町で暮らすイメージをつかむのが一番。全国各地域の情報提供·相談を行っている「ふるさと暮らし情報センター·東京」や「大阪ふるさと暮らし情報センター」などを利用する方法もある。

STEP 3 U·Iターン先の仕事を探そう

専門の相談員が対応してくれる無料職業紹介所などにU·Iターン就職について相談してみよう。WEB上で求人情報を検索できる「ハローワークインターネットサービス」は、市町村まで対応しているので、エリアを絞り込んでいる人には便利。

STEP 4 準備すること

U·Iターンには、引っ越し費用をはじめ予想以上にお金がかかる。不用品の回収·処分費用、新たに買い揃える日用品の費用なども含めて、大まかな経費を算出しておくのがベスト。可能な限り、自動車免許も取得しておこう。



STEP 5 いよいよびんごライフスタート!

周りに知り合いが多い実家の場合も、初めに「戻ってきました」と伝えておくと何かと安心。また、近隣住民の集まる地域行事などにはできるだけ参加を。顔を覚えてもらい人柄を知ってもらうことが、地域に溶け込むきっかけになる。

Bingo Life! 楽しもう!!

地元で暮らす魅力

故郷での暮らしには、
都会生活にはない魅力がいっぱい!

- 海や山などの自然が豊か
- 愛着がある土地で暮らせる
- ストレスがない、ゆとり生活
- 住みやすさを感じられる
- 生活費がぐっと安く

まとめcolumn

しっかりイメージして準備しよう!

勝手知ったる地元でも、田舎ならではの習慣や風習、都会との感覚の違いなど、改めて戸惑うことがあるかもしれない。しっかりと準備して、新天地で新しい生活を始めよう!

TAKE FREE
びんごライフ MAGAZINE
2017年3月7日発行

編集／株式会社ザメディアジョン
※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転載を禁じます
発行／備後圏域連携協議会
〒720-8501　広島県福山市東桜町3番5号
☎084-928-1012（福山市 企画政策課）
WEB http://bingolife.jp/

Contents

備後圏域って？

備後圏域で暮らそう …… P4

BINGO LIFE DATA …… P6

BINGO LIFE Interview …… P8

備後圏域のすごい企業！

まるか食品株式会社（尾道市） …… P10

株式会社キャステム（福山市） …… P12

ヒロボー株式会社（府中市） …… P14

仕事and休日の楽しみ方

三原市 LIFE 株式会社八天堂 …… P16

尾道市 LIFE まるか食品株式会社 …… P18

福山市 LIFE 株式会社キャステム …… P20

府中市 LIFE ヒロボー株式会社 …… P22

世羅町 LIFE 株式会社セラアグリパーク …… P24

神石高原町 LIFE シルトピア油木 …… P26

笠岡市 LIFE グリーンツール株式会社 …… P28

井原市 LIFE タカヤ株式会社 …… P30

裏表紙

びんごライフへの5つのステップ

備後の魅力 再発見！

自分たちのふるさとを　いま、見つめてみよう。

備後圏域で暮らし、働いている“人”にスポットを当てた『びんごライフ』。
その地域の未来を創っていくのは、そこに根ざして頑張っている“人”たち。
次のステージに向けて確かな、大きな1歩を踏み出すために、
自分たちのこれから、そしてふるさとを見つめてみる。
きっとそこには、いままで気づかなかったふるさとの魅力が詰まっているはず！





世羅町

世羅台地の豊かな恵み!

世羅台地を中心に豊かな自然に囲まれ、広島県内の主要農業地域としての役割を担う。花や果物の観光農園や農産物直売所が多く、6次産業（1次産業、2次産業、3次産業をかけると6次産業になるという造語）の先進地としても知られる。



府中市

全国に誇れる地場産品、世界に誇れる企業がずらり

品質と技術の高さで知られる「府中家具」、400年の歴史を持つ「府中味噌」をはじめとする地場産品、自動車部品や電子機器のプリント基盤製造で世界に誇れる企業など“ものづくりのまち”として全国に名を馳せる。



神石高原町

大自然に癒やされる高原リゾート

恵まれた気候と自然環境を活用した農業・畜産業やリゾート産業が盛ん。森に癒やされる森林セラピー®をはじめ、とよまつ紙ヒコーキ・タワー、ティアガルテン（仙養ヶ原）、帝釈峡など大自然を満喫できるアトラクションスポットのほか、歴史ある史跡や由緒ある神社・仏閣も多く存在。



井原市

のどかな里山から魅力を発信

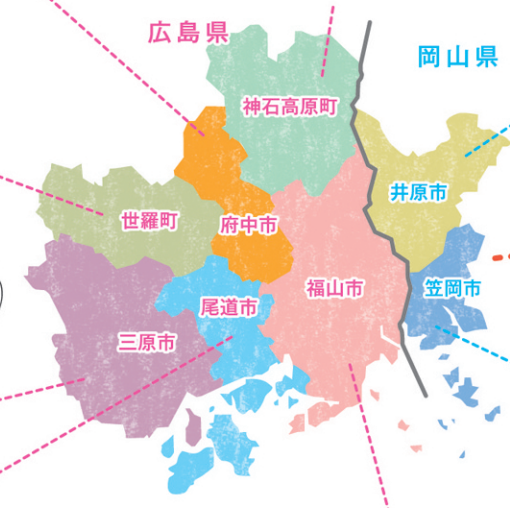
古くから繊維産業が盛んな町。江戸時代初期の綿作栽培が始まりといわれる「井原デニム」は、世界でも高い評価を得ている。日本三選星名所に選ばれるほど星空の美しい町「美星町」には、星空公園や国内最大級の反射望遠鏡を備える天文台もある。

海と山に囲まれた

都市と自然が共生するまち

備後圏域（びんご）で暮らそう

穏やかな瀬戸内海を望む南部（福山市・三原市・尾道市・笠岡市）と背後に雄大な中国山地がそびえる中・北部（府中市・世羅町・神石高原町・井原市）の6市2町からなる備後圏域。
自然に囲まれた立地ながらも、新幹線や高速道路など交通網が整備され、
便利で暮らしやすい。







三原市

島あり、街あり、高原ありの便利でよくばりなまち三原

島あり、街あり、高原ありと様々なライフスタイルの実現が可能なまち。交通面では空港、新幹線駅、港などが揃い、東京、大阪へ片道2時間以内と大都市に近い田舎暮らしが可能で、島暮らしでも新幹線駅から高速船で約20分と交通の便の良さも自慢の一つ。



尾道市

歴史と文化薫る瀬戸内の十字路

2015年の「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」に続き、2016年には「“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島−よみがえる村上海賊“MurakamiKAIZOKU”の記憶−」が日本遺産に認定。2018年に市制施行120年、2019年に尾道港開港850年を迎える。



福山市

製造業で栄える備後圏域の中核都市

人口約47万人を擁する備後圏域の中核都市。多くの上場企業を抱える“ものづくりのまち”として発展。交通・物流の拠点性も高く、働くにも住むにも便利な立地。名勝・鞆の浦など歴史・文化的な資源も多い。2016年7月1日に市制施行100周年を迎えた。



笠岡市

自然環境に恵まれた、風光明媚な町

広大な笠岡湾干拓地と風光明媚な笠岡諸島を有し、カブトガニの繁殖地としても知られる。大小約30の島々からなる笠岡諸島は、離島ならではののんびりとした空気が流れる。恵まれた環境と風土の中で育まれ、笠岡市の魅力が詰まった「かさおかブランド」を推進している。

BINGO LIFE DATA

仕　事

就業率

東京都・大阪府の都市圏と比較しても、
備後圏域は全体・女性ともに同等以上の就業率です。

備後圏域
（福山市の場合）
全体**54.1%**
（女性**44.9%**）





東京都
全体52.3%
（女性43.7%）
大阪府
全体50.1%
（女性41.1%）

三原市（全体52.6% 女性43.8%）／ 尾道市（全体52.3% 女性42.6%）／ 府中市（全体52.9% 女性44.8%）／ 世羅町（全体55.5% 女性46.1%）
神石高原町（全体55.0% 女性45.5%）／ 笠岡市（全体47.8% 女性39.5%）／ 井原市（全体52.5% 女性44.6%）

出典：総務省「平成22年国勢調査」

通勤・通学時間

1日は平等に24時間。
通勤にかからない分、時間を有効に使えます。

広島県
34.5分
岡山県
33.5分





東京都
46.5分
大阪府
40.0分

出典：生活コストの「見える化」システム（β版）

子　育　て

保育所待機児童数はゼロ。共働き率も高く、仕事と子育てが両立できます。

保育所待機児童数



備後圏域 0人



東京都世田谷区
1,182人
（全国最大）

出典：厚生労働省「平成27年4月の保育園等の待機児童数とその後」

共働き率

岡山県.....47.5%
備後圏域 ...47.0%
（福山市の場合）
広島県.....45.9%

全国平均 45.4%
東京都 44.0%
大阪府 39.8%

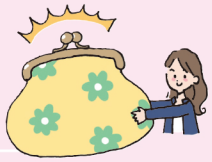
出典：総務省「平成24年就業構造基本調査」

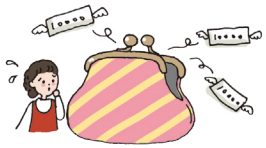
生　活　費

収入と支出

東京都と比べて収入は少なくても、支出が少ないので
生活にゆとりが生まれ、自分の好きなことにお金が使えます。

備後圏域
（福山市の場合）
収入 436.3万円/年
支出 412.5万円/年
差額 **+23.8万円/年**





東京都（世田谷区の場合）
収入 469.7万円/年
支出 485.3万円/年
差額 −15.6万円/年

大阪府（堺市の場合）
収入 435.8万円/年
支出 422.2万円/年
差額 +13.6万円/年

	支出	差額		支出	差額
三原市	406.0万円/年	+30.3万円/年	笠岡市	393.6万円/年	+16.6万円/年
尾道市	408.6万円/年	+27.7万円/年	井原市	385.8万円/年	+24.4万円/年
府中市	394.4万円/年	+41.9万円/年			
世羅町	406.8万円/年	+29.5万円/年			
神石高原町	406.8万円/年	+29.5万円/年			

出典：生活コストの「見える化」システム（β版）
※単身世帯、25〜29歳、製造業、賃貸住宅（20㎡）で試算

家　賃

備後圏域
（福山市の場合）
35,355円/月





東京都
（世田谷区の場合）
81,069円/月
大阪府
（堺市の場合）
44,036円/月

年間にするとこれだけの差に!

備後圏域	東京都
42.4万円/年	97.3万円/年

差額**54.9万円/年**

三原市 30,490円/月　笠岡市 33,090円/月
尾道市 32,880円/月　井原市 26,673円/月
府中市 20,173円/月
世羅町 29,777円/月
神石高原町 29,777円/月

出典：生活コストの「見える化」システム（β版）
※面積20㎡で試算

食料費

備後圏域
（福山市の場合）
65,699円/月





東京都
（世田谷区の場合）
70,069円/月
大阪府
（堺市の場合）
65,454円/月

年間にするとこれだけの差に!

備後圏域	東京都
78.8万円/年	84.1万円/年

差額**5.3万円/年**

三原市 68,272円/月　笠岡市 60,294円/月
尾道市 65,106円/月　井原市 63,440円/月
府中市 63,371円/月
世羅町 67,245円/月
神石高原町 67,245円/月

出典：生活コストの「見える化」システム（β版）

BINGO LIFE

Interview

「都会に残る?」「地元に帰る?」地方から都市圏の大学に進学した学生なら誰しもが迫られることになるこの選択。卒業を控えた備後圏域出身の3人に就職・故郷・将来の３つのテーマでインタビュー!



岩野 成美 さん
甲南女子大学4年。東京に本社があるメーカーに就職が決定。福山市出身。



川瀬 美咲 さん
神戸松蔭女子学院大学4年。神戸での就職を希望している。府中市出身。



渡辺 真祈 さん
関西大学4年。広島の金融機関に就職が決定。大学卒業後は実家に戻る。福山市出身。

就職

現在の就活状況は?

渡辺 広島の金融機関に決まっています。地元に戻って働きたくて、実家から通える範囲で探しました。大変だったのは移動。20回くらいは大阪と福山を往復したと思います。

岩野 私は東京に本社があるメーカーに決まっていて、勤務地は関西を希望しています。4年間学生生活を過ごして住み慣れたのもあるし、こっちでできた友達も多いので。

川瀬 私はまだ就活中。関西の企業で探しています。最近、キャリアサポートを受け始めて、それを軸に少しずつ前進できているかなと思っています。

故郷

あなたにとって故郷とは?

岩野 帰る場所ですね。親戚や幼なじみもいるし、**ご近所同士の交流も深くて、人と人との距離が近い。都会にはない温かさ**みたいなものをいつも感じます。

渡辺 **ほっとできる場所。地元で就職している同級生が多いのも福山に帰る理由**の一つかな。大学で知り合った友達にも福山の魅力をどんどん伝えていきたいですね。

川瀬 **都会に比べて物価は安いし、自然が多くて、人も優しい。**これからは地元だからこそ味わえたり、過ごせたりする時間をもっと大切にしていきたいです。

将来

社会人になることについては?

川瀬 社会に出て自立していくことが楽しみでもあり、不安でもあります。どれくらい稼げるんだろう?とか。

岩野 営業職としてちゃんとやっていけるかなという不安はあります。遊びや勉強、趣味などに使う時間も大事にしていきたいです。経験をたくさん積んで、早く一人前になりたい!

渡辺 私は、**どんな仕事をするのかと同じように、どこで生きていくのかも大事だと思うんです。「地域に根差して働きたい」**という思いがずっとあるので、地元を盛り上げることに少しでも貢献できたらと思います。

首都圏・関西圏に進学した学生たちの声

Other Voices

【 先輩社会人に聞いてみたいことは?】

実際に社会に出て働くことの大変さや面白さ（尾道市出身・男子）

なぜその会社・業界を選択し、入社を決めたのか（福山市出身・男子）

なぜ、その地域で働こうと思ったのか
なぜ、その会社で働こうと思ったのか（尾道市出身・女子）

【 企業を決める上で大切なことは? 】

誰と働くか、目標とする人や尊敬できる人がその会社にいるか（福山市出身・女子）

自分のやりたいことができるかどうか。社風や働いている人はどうか（福山市出身・男子）

その会社の社風や働いている人の雰囲気（三原市出身・女子）

【 地元での就職をしたいですか? 】

はい

地元が好き! いろんな人にこの良さを発信したい（福山市出身・女子）

地元を愛しているし、地元に恩返しがしたい（尾道市出身・男子）

人があったかくて、落ち着くから（井原市出身・女子）

地元に戻って旧友と遊びたい。
広島でスキルアップしていきたい（福山市出身・男子）

いいえ

考えなかったわけではないけれど、希望する職種の求人がなかった（福山市出身・女子）

地元が島なので、もう少し都会で働きたい（尾道市出身・女子）

【 故郷の良いところは? 】

海・山など自然がきれい
檸檬や柑橘の生産が盛ん（尾道市出身・女子）

海も近い、山も近い、星がきれい。住みやすく、時間の流れがゆっくり。災害が少ないので、家族をもった時に安心して暮らせると思う（福山市出身・男子）

田舎と都会の中間で、自然環境と生活の利便性のバランスがとれている（福山市出身・女子）

海も山も川もあって、いつでも落ち着けて癒やされる場所（福山市出身・男子）

穏やかな人が多い。知り合いも多く、あったかいところ（井原市出身・女子）

お好み焼き、カープの応援など、広島の人は地元愛がすごい。便利で住みやすい街だと思う（尾道市出身・男子）

めまぐるしく人が行き交う都市部に比べて、ゆったりできる（福山市出身・男子）

東京の大学に進学した彼に聞く、未来観

**地元と東京、両方で生活したからこそわかる魅力と課題。
東京で新たな道を踏み出す彼に、今の思いを聞いた。**



藤井 拓海 さん
拓殖大学4年。東京で就職活動を行い、公務員採用試験に合格。福山市出身。

自分が生まれ育った地元で子どもを育てたい

大学を卒業したら東京で就職するけれど、いつかは地元で暮らしたいという気持ちがあります。自分の育ってきた環境で子育てができるといいと思うんです。少し遠い小学校まで友達と通うのも楽しかったし、途中ですれ違った人と元気に挨拶を交わしたことも、今思えばとても大切なことだったと思います。山で虫取りをしたり、川で魚を釣ったり、子どもが伸びやかに育つ環境が地元にはあるんです。その時の仕事の状況にもよるけれど、それでも「いつかは」と思う自分が確かにいます。

福山 vs 東京 いいトコ対決!

福山

人が本当にあったかい。それに地域で人のつながりがあるから、何か困ったことがあっても、誰か助けてくれるという心強さがあります。

東京

サークルなどを通じて、いろんな人の考え方に触れる機会がありました。「自分も頑張らなくちゃ」と、いい刺激をもらったと思います。



瀬戸内の名産×技術力で全国のイカ天メーカーを牽引する

すごいぞ、備後！ 1

まるか食品株式会社



豊富な味のバリエーションから誰もが知るヒット商品が誕生

お好み焼きの具材として、広島ではおなじみの「イカ天」。実は全国のイカ天メーカーの約8割は尾道市・呉市に集中しており、まるか食品の尾道市における市場シェアはトップを誇る。同社の強みは第一に豊富な商品。イカ天・のり天だけでも約70種類（期間限定商品を含む）あり、それらの商品群の中から「イカ天瀬戸内れもん味」が誕生した。大ヒットの背景には、レモンの酸味を強く出す、サイズを小さめにするなど、女性社員のアイデアが反映されている。

商品開発力を誇る同社が、特に注力しているのが環境整備。モノの定品定位置などを徹底し、〝整理・整頓・清潔〟を促すことで、仕事を進めやすい職場を実現。食品メーカーとしての基本姿勢が、全社員にしっかり浸透している点が印象的だ。













BINGO Brand

独自開発の機械で大量生産に成功！ふるさとの味を全国に届ける

まるか食品の創業は1961年。漁師を生業としていた現会長が、当時おそうざいとして食べていた「スルメフライ」の大量生産を考え、個人創業したことが始まりだ。試行錯誤の末、オートメーション化に成功し、徐々に事務所・工場を拡大。1993年には「尾道工業団地」に本社工場を新設し、商品ごとに使い分ける7機のフライヤーや、衣づくり専用機械などを導入した。大反響を呼んだ「イカ天瀬戸内れもん味」をはじめ、「のり天」や「のしイカ」などの定番商品、期間限定商品を続々と送り出している。

基本情報

まるか食品株式会社

〒722-0212広島県尾道市美ノ郷町本郷455-10
TEL 0848-48-5585／FAX 0848-48-5595

創　　業/1961年3月
資 本 金/9,471万円
従業員数/120名
（パート・派遣・アルバイト含む）
代表取締役社長/川原 一展
主要商品/スルメフライを主体に、海産珍味やスナック類など



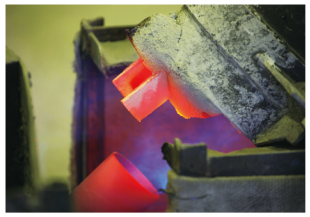
＼イカ天のトップメーカー！／

Point 1 創業以来フライ製品にこだわり続け尾道市のイカ天メーカーのトップを走る

Point 2 加工から箱詰めまで自動化ラインを整備大きな生産力で高品質な商品を製造

Point 3 作業効率アップのための環境整備や仕事と家庭の両立支援を推進









社員の幸せにもつながる地域活性化に貢献
熱心なメセナ活動は海外からも高く評価

製菓会社として創業後、工場の片隅で鋳物づくりの技術を完成。1970年に鋳造部門を分離独立し、他社に真似のできないハイレベルな精密鋳造技術を可能にしてきたキャステム。その後、独自のノウハウを追求し、技術開発への取り組みを続けてきた。現在、キャステムグループは精密鋳造部品の製造販売を主軸として、国内および東南アジア圏に事業展開するグローバル企業に成長。高品質、低コスト、短納期、多品種、小ロットと、業界のうねりが激しさを増すなか、常にクライアントに最高の価値を提供し続けている。

基本情報

株式会社キャステム

〒720-0004 広島県福山市御幸町中津原1808-1
TEL 084-955-2221／FAX 084-955-2065

創　　業／1970年2月
資 本 金／7,996万円
従 業 員 数／235名（パート・派遣・アルバイト含む）
代表取締役社長／戸田 拓夫
主 要 商 品／精密鋳造部品、金属粉末射出成形部品など



＼独自技術を支える意欲的社風／

Point! 1 試作品を速く安く製造・加工できる
3Dプリンターの導入で納期を大幅短縮

Point! 2 ロストワックス、メタルインジェクション※
独自技術開発で高精度の製品を提供
※自動車部品や医療機器、電子機器など金属部品の精密加工技術

Point! 3 技能や語学のスキルアップで待遇が向上
意欲的にチャレンジできる社風を醸成

図面作成から金型・製造・加工までの一貫生産で、時間とコストを削減

すごいぞ、備後！ 2

株式会社キャステム



若手もベテランも切磋琢磨 新たな鋳造業の姿を確立

創業した製菓会社での鋳物づくりから精密鋳造技術を完成させ、精密部品の独自技術開発に取り組み続ける株式会社キャステム。クライアントからのオーダーに対して材料やコスト、製造方法まで一貫して提案。日本における従来の鋳造業とは異なる独特のスタンスが目を引く。技能や語学手当を充実させるなど、年功序列にこだわらず社員の意識の高さと努力を評価。東南アジアを中心とした海外への展開も積極的だ。

社員は有給休暇や産休が取得しやすく、フレキシブルな働き方が可能なため、離職率が低水準なのも特徴。ものづくりの楽しさを伝えるメセナ活動や、地元商店街イベントのボランティア活動を通じた地域活性化など、長期的視野に立った企業活動を行っている。





すごいぞ、備後！ 3

産業用ヘリコプターで人の命を救う!

ヒロボー株式会社



夢に向かって挑戦し続ける オンリーワンのものづくり

大空を自由に飛べたら…この永遠のテーマと共に歩み続けて40年。ヒロボーの名を世に広めたのは、ホビー用無線操縦模型＝ラジコンヘリコプターだった。各部にプラスチック成形品を使い、一部組み立て済みの状態で販売した機体は、組み立てやすい・飛びやすい・低価格と三拍子そろい大ヒット。また、2枚のプロペラを逆方向に回す技術を採用した室内用ヘリコプターは安定性と安全性を両立し、初心者用の製品として新たな市場を生み出した。

そして今、ホビー用で培った技術力を基に、世の中の役に立つ産業用ヘリコプターの開発を進めている。農薬散布や各種調査などの業務用から、災害時の消火活動や人命救助を想定したものまで多岐にわたるが、目指すのは〝人の命を救うヘリコプター〟。ヒロボーの挑戦はまだまだ続く。



電動無人ヘリコプター「HX-2」農薬散布仕様







可変ピッチプロペラマルチコプター「HDC01」

BINGO Brand



HDC01による橋梁点検

ホビー用から産業用へ 独自技術でヘリコプターを開発

1949年に紡績会社として創業。1970年に社名を「広島紡績」から「ヒロボー」へと改称し、翌々年からプラスチック部門の事業を開始。1973年にはラジコン模型分野の開発に成功。世界のラジコンヘリコプターの常識を覆す製品を開発したことで、一躍世界的トップメーカーに上りつめる。現在は産業用ヘリコプターの開発に力を注ぎ、2018年には農薬散布や荷物運搬、消火活動用として『HX-2』が実用化の予定。デンソーと共同開発した可変ピッチプロペラマルチコプター『HDC01』が2016年グッドデザイン賞を受賞。

基本情報

ヒロボー株式会社

〒726-8614 広島県府中市本山町530-214
TEL 0847-41-6780／FAX 0847-41-8902

創　　業／1949年10月
資 本 金／8,000万円
従業員数／153名（パート・派遣・アルバイト含む）
代表取締役／松坂 晃太郎
主要商品／産業用UAV（ドローン）、電動無人ヘリコプター、ホビー用無線操縦模型、プラスチック成形品等の開発・設計・製造



独自技術で他を圧倒する ＼ 産業用ヘリメーカー ／

Point 1 高い技術力と粘り強さで、世の中に役立つ産業用ヘリコプターを開発

Point 2 空の分野に携われる仕事で夢とロマンを追いかける！

Point 3 社内託児所など福利厚生が充実。クラブ活動も盛んで社員同士の交流も多い



副工場長として
日々奮闘中!

仕事 and 休日の楽しみ方

三原市

LIFE

会社や地域のサポートで仕事と子育てを両立

八天堂のエネルギッシュでパワフルな社風&人にひかれて入社を決めた中井さん。結婚・出産を経ても、会社や三原市の支援制度を活用しながら、生き生きと働き続けている。現在は副工場長になり、自分のさらなる成長のために奮闘する毎日だ。





株式会社 八天堂
製造部 副工場長

中井 明日香さん(29歳)

なかいあすか●鹿児島大学大学院水産学研究科を卒業後、八天堂に入社。製造、品質管理を担当した後、2016年12月に副工場長に着任。工場長と連携を取りながら、工場全体のマネージメントを担当する。



工場の製造スタッフにこまめに声をかけていく。商品の品質はもちろん、社員の様子もしっかりとチェック

自分が変わるきっかけに

生まれ育った山口県に近い中国地方での就職を希望していた中井明日香さん。トータル10社の企業説明会に参加する中、他社とは一線を画す八天堂の社風や人に強くひかれた。「社長自らが出てきて、会社のことを熱く語ってくれたんです。社長の熱意を感じ、もっとこの会社を知りたいと思いました。工場長の学生達に本気でぶつかっていく姿にも驚きました」。八天堂への入社は、自分が変わるきっかけにもなった。学生時代は研究に没頭していたこともあり内向的な性格だった中井さん。それが今では、「社会に貢献したい、三原を盛り上げたい」と気持ちが外へと向くようになったそうだ。

2年前に結婚し、1歳の娘のママでもある中井さん。産休・育休・短時間勤務など充実した社内制度を活用しながら、仕事と子育てを両立している。特に助かっているのが、勤務先の広島みはら臨空工場横に八天堂が開園した「りんくう保育園」。毎日子どもと一緒に出勤でき、何かあった時はすぐに様子を見に行けるなど安心感も大きいという。

2016年12月には副工場長に着任。「大役ですが、今は頑張りたいという思いであふれています」と話す生き生きとした表情が印象的だ。

中井さんの1日

[仕事]

5:30 起床
6:30 娘を起こす、朝食
7:30 家を出発
8:00 保育園に娘を送る
8:30 出勤、工場の様子を確認
10:00 商談
12:00 昼食
13:00 工場の様子を確認
15:30 退社 ※短時間勤務のため
16:00 娘の迎えで保育園に
17:00 洗濯、夕食
19:00 娘とお風呂
21:00 娘を寝かしつける
21:30 スタッフにメールで連絡
本日の確認&翌日の確認
23:30 就寝

[休日]

8:00 起床
8:30 朝食準備
9:00 娘を起こす、朝食
12:00 家族と「カフェリエ」でランチ
離乳食やお子様メニューもあり、子連れで利用しやすい
14:00 ポポロの芝生広場で遊ぶ
16:30 家へ帰る、夕食準備
18:00 夕食
19:00 娘はパパとお風呂
21:00 娘を寝かしつける
21:30 夫婦でゆっくりおしゃべり
話題の中心は、やっぱり娘のことに
23:00 就寝

カフェリエでランチ

休日に家族でよく訪れるのが八天堂の体験型カフェショップ「カフェリエ」。メニューもスタッフも子連れに優しいので居心地抜群!





筆影山

山頂から見える瀬戸内海の美しい景色がお気に入り。暖かくなると家族で訪れ、のんびり過ごすこともあるそう。



山や海など自然いっぱい子育てしやすい町です

三原は空港も新幹線の停車駅もあって、港もある便利な町。山も海も島も近く、自然豊かなのが魅力です。娘に自然を見せてあげたいので、休日は家族でいろんな場所に出かけるようになりました。筆影山、佛通寺、三景園、須波の海水浴場など、お気に入りの場所はたくさんあります。市の子育て支援が手厚いのもうれしいですね。月に一度、親子で市のサークルに参加していますが、情報を共有したり、ママ友達が増えたりと、とても役に立っています。



親子で遊べる場所がたくさんあります♪

仕事 and
休日の楽しみ方

LIFE

尾道市

自分の企画した商品を食べてもらえる喜び

仕事、飲み会、自主的な部活動、趣味…
とオンもオフも全力投球で楽しむ姿が印象的な早田さん。
休日も家で過ごすことは少なく、
友人と町歩きしたり、カフェでおしゃべりしたり、
温泉に行ったりと尾道生活を満喫している。






新商品の開発に向けて、試食をしながら意見を交換。営業や企画など他部署との連携も必須だ

まるか食品株式会社
研究室

早田明日香さん（23歳）

はやたあすか●川崎医療福祉大学臨床栄養学科を卒業後、2015年にまるか食品に入社。入社以来、研究室に所属し商品開発に携わる。2017年1月には自身が担当した〝イカ天トマト&バジル味〟、〝のり天はちみつ梅味〟が発売。



入社の決め手は楽しそうな社風

イカ天瀬戸内れもん味〟が大ヒットしたまるか食品で、次のヒット商品を目指し企画・開発を行っている早田明日香さん。アイデアを出すところから始まり、素材の吟味、味付けの微調整など、一つの商品ができ上がるまでには細かく地道な作業が続く。「自分はおいしいと思っても他の人は違ったり、少し味を変えるだけで好きになったと言われたり。味を微調整していく作業は、難しいけれどおもしろく、とても勉強になります」。苦労して作った商品を店頭で目にした時の喜びはひとしおだそう。「コンビニなどで自分が担当した商品を手にしている人を見た時は、本当にうれしいですね」と満面の笑みで話す。

早田さんがまるか食品に入社を決めた理由は、大学時代に学んだ臨床栄養学を生かせる仕事内容に加え、社員同士が仲の良い和気あいあいとした社風だった。雰囲気の良さは入社してからも強く感じるという。「仕事が終わった後、会社の人と飲みに行くことも多いのですが、部署の隔たりがなく、他部署の人から誘われることもあるんです。有志が集まるボーリング部にも参加していますが、とっても楽しいですよ」と仕事の後も充実した時間を過ごしているようだ。

早田さんの1日

［仕事］

6:00 起床、弁当作り
6:30 朝食
7:15 家を出発
7:50 朝礼
8:00 工場で新商品のチェック
12:00 昼食
13:00 デスクワーク（資料作り）
15:00 開発商品の打ち合わせ
15:30 工場でパッケージの確認
17:00 退社
18:30 ボーリング部
20:00 部員仲間と夕食
21:00 お風呂、次の日の支度
22:30 就寝

［休日］

7:00 起床
7:30 朝食
8:00 洗濯、部屋の片付け
10:00 友人と合流して、尾道の商店街をぶらぶら
12:00 「あくびカフェー」でランチ
レトロな雰囲気で大好きなカフェ
15:00 日帰り温泉「ぽっぽの湯」
17:00 「Nico」で早めの夕食
こちらのカフェもお気に入り
19:00 帰宅
22:00 就寝



有志が集まるボーリング部！

月に1〜3回、仕事が終わった後に行われるボーリング部。参加者の年齢も部署も幅広いので、良いコミュニケーションの場に。



友人とカフェでまったり

ランチにお茶に夕食に、1日に数軒のカフェをはしごすることも。「尾道って穴場が多いんですよ〜」。



カフェめぐり&温泉
休日は趣味の時間を満喫

尾道ならではのゆったりとした雰囲気が好きです。休日はほぼ外出して、趣味のカフェめぐりをしています。「あくびカフェー」や「Nico」など、お気に入りの店はたくさんありますが、昔を想像させるレトロで懐かしい佇まいにひかれますね。人通りが少なくなった夜の商店街もすてきですよ。温泉も好きなので、たまに足を伸ばして山陰や四国へ行くことも。尾道は「やまなみ街道」と「しまなみ海道」が通っているので、南北どちらに行くにも便利なんです。



のんびり
路地歩きも
楽しいですよ♪

仕事 and 休日の楽しみ方

福山市

LIFE

異分野への転職で自分をさらに高めていく

大学時代をアメリカで過ごしたバイタリティあふれる吉田さん。自分の価値を高めるため、転職して飛び込んだのは長い歴史を誇る〝鋳造〟の世界だった。学生時代に培った語学力と、持ち前の好奇心や行動力を武器に、精密鋳造技術を世界へと発信する。



精密鋳造技術を福山から世界へ

株式会社キャステム
海外本部 主任

吉田 瑛さん（29歳）

よしだあきら●アメリカのカリフォルニア大学サンディエゴ校経済学部を卒業後、帰国。東京で2年間、ヘッドハンティングを行う会社に勤務した後に、キャステムへ転職。語学力を生かし海外本部で活躍中。



海外とのやり取りはスカイプで行う。業務連絡の他、たわいもない話で盛り上がることも



自分の価値が1番高まる場所へ

アメリカの大学を卒業した後、東京でヘッドハンティングを行う会社に就職した吉田瑛さん。「仕事はおもしろく、やりがいもありましたが、もっと自分を生かせる場所があるのではと考えるようになりました。自分の価値が1番高まる所に行きたいと思ったんです」。そんな折、地元・福山の会社がアメリカに支社を出すため人材を探しているという話を耳にする。「自分の価値をもっと高められ、地元にも貢献できるのでは」と吉田さんは転職を決意。都会で大勢の中の一人として埋もれるより、人材の少ない地方で自分を輝かせたいという思いだった。

キャステムに入社して3年、現在は世界中を飛び回る多忙な日々を送る。3ヶ月に一度は海外へ出張し、国際会議や国際学会に参加、そのまま2〜3週間滞在することも。鋳造業は今も男性中心の社会のため、吉田さんのような20代女性はほぼ皆無。周りからは注目の的だそう。「鋳造の世界は複雑で奥が深く、取ってつけたような知識では太刀打ちできません。素直に周りの人に教えてもらうことが大事ですね。会社の顔となる部署ですのでプレッシャーはありますが、努力していろいろ吸収していきたいです」と目を輝かせる。

吉田さんの1日

［仕事］	［休日］
6:00 起床	8:00 起床
7:00 朝食	8:30 朝食
8:00 出勤	9:00 趣味の焼き菓子作り かわいくラッピングをして友人にプレゼント。ストレスの発散にも最適!
8:30 朝礼	
9:00 アメリカ、コロンビアとスカイプでやり取り	
12:00 昼食	12:00 友人と福山駅周辺でランチ
13:00 ミーティング	15:00 中央図書館 好きな美術書などを読んでリラックス
14:00 海外展示会用のパンフレットの制作	
15:30 フィリピンの上司に報告	16:30 スーパー「ハート」で買い物
17:30 退社	17:00 帰宅
18:30 夕食準備	17:30 ゆっくり夕食作り
19:30 夕食	19:30 夕食
21:30 就寝	21:30 就寝

仕事場から見る景色

本社3階の1番北側、吉田さんのデスク近くから望む夕焼け空。「ここから見る夕日がお気に入り。神々しくて本当に美しい!」。





ドイツのカフェで友人とディナー

出張先のドイツで、現地在住の友人とディナー。仕事の近況を報告したり、プライベートな話をしたり、異国での楽しいひととき。



瀬戸内の食文化の豊かさを改めて実感しています

一度、地元を離れたからこそ感じるのが、福山の食べ物のおいしさです。お肉が大好きなのですが（笑）、スーパー「ハート」に売っている「なかやま牧場」のお肉は新鮮で本当にやわらかい。ランプ肉を買って、ステーキでガッツリ食べるのがお気に入りです。瀬戸内は海鮮や果物もおいしいですし、食文化の豊かさは素晴らしいと思います。アメリカや東京で暮らしたことで、こんなにも恵まれた土地で生まれ育ったんだと改めて気づかされました。



日本の良さ、福山の良さを再認識！

府中市

仕事 and 休日の楽しみ方

LIFE

産業用ヘリコプターに懸ける夢と情熱

ものづくりのまちとして知られる府中市には、独自の技術を誇るオンリーワン企業が多数ある。広島市出身の片山さんが選んだのは、産業用ヘリコプターの開発で注目を浴びる会社だった。家族との時間を大切にしながらも、片山さんは自分の夢に向かって走り続ける。



自身の夢と会社の夢をヘリコプターに乗せて

ヒロボー株式会社
スカイ事業部　スカイ事業企画係長

片山康博さん（34歳）

かたやまやすひろ●日本大学理工学部航空宇宙工学科を卒業後、2005年にヒロボーに入社。研究開発所での産業ヘリの開発、モールド事業部での営業などを経て、2016年1月にスカイ事業企画係長に着任。



「目指すのは、人の命を救う産業用ヘリコプターの開発です」と語る片山さん





恋しき

片山さんのお気に入りは、明治5年創業の料亭旅館を再生させた「恋しき」。「雰囲気も良いし、料理もおいしいので女性に喜ばれます」。





家族と過ごす幸せなひととき

共働きなので、休日は家族とゆっくり過ごせる貴重な時間。何気ないひとときに幸せを感じるのだそう。



地元愛たっぷり！広島県の良さを再認識

「府中市だから」「広島県だから」という理由で就職先を選んだわけではないのですが、今は生まれ故郷の広島県に戻ってきて良かったと思っています。一度、県外に出たことで地元の良さが再認識できました。広島カープ、お好み焼き、地元企業…広島県人って故郷に強いアイデンティティーや誇りを持っている人が多いですよね。府中市で10年間暮らし、結婚を機に隣町の福山市に引っ越して2年が経ちました。出身は広島市ですが、備後エリアへの愛着がどんどん沸いています。



自分の夢に向かってチャレンジ！

挑戦できることがやりがいに

「空の分野に関わる仕事に就きたい」という夢を持ち、大学では航空宇宙工学科へ進学した片山康博さん。就職活動をする中で出合ったのが、ホビー用・産業用ヘリコプター、プラスチック製品を作る府中市のヒロボーだった。「当時、開発中の送電線無人巡視ヘリコプター『SKYSURVEYOR』を見た時に、自分の思いと合致したんです。人の役に立ちたい、人を助ける仕事がしたいと考えていましたから」。ホビー用ヘリコプターでシェア世界一を誇ったヒロボーが、産業用ヘリコプターの開発へとシフトチェンジを始めた頃だった。

入社以来、産業用ヘリコプターの開発やプラスチック製品の営業など、さまざまな仕事を経験し、キャリアを重ねた片山さん。現在はスカイ事業部の企画係長として、産業用ヘリコプターの実用化に向け全国を飛び回る毎日だ。「誰も正解を知らない新規事業を企画する中で模索の連続ですが、大変だからこそやりがいがあります」。片山さんが夢を追い続けることができるのは会社の社風も大きい。「提案に対して、否定せずに挑戦させてくれる風土があるんです。夢が広がり楽しいですね」とキラキラした目で話す。

片山さんの1日

［仕事］

- 6:00 起床
- 6:15 朝食、弁当作り
- 7:30 出勤
- 8:00 朝礼
- 9:00 開発会議
  開発担当・製造担当との会議は夢が広がる
- 11:00 事業部会議
- 12:00 昼食
- 12:45 プレゼン資料作成
- 14:00 新規取引先との打ち合わせ
- 15:15 デスクワーク
- 17:00 明日に向けての資料もバッチリ
- 18:00 退社
- 18:30 帰宅、夕食
- 19:30 TV、読書など、ゆっくり疲れを癒やす
- 21:00 就寝

［休日］

- 7:00 起床・朝食
  いつもより遅めの起床。妻と一緒に家事タイム
- 10:00 天気の良い日は家族でおでかけ
  近所の公園などでゆっくり過ごす
- 12:00 昼食
- 15:00 家族みんなでお買い物
- 18:00 娘とお風呂
  今しかない大切な時間!
- 19:00 夕食
  土曜は夫婦でまったりと晩酌タイム
- 21:00 就寝

仕事 and 休日の楽しみ方

世羅町 LIFE

会社や地域の人と一緒に、世羅町を盛り上げる

地域の人とのつながりを大切にしながら世羅町で暮らす平田さん。せらワインを広くPRするかたわら、地域活動にも積極的に参加。何事にも前向きに取り組む平田さんが語る世羅町の魅力とは？



株式会社 セラアグリパーク
せらワイナリー 課長

平田吉彦さん（37歳）

ひらたよしひこ●京都産業大学法学部を卒業後、大阪の会社で3年間勤務。2006年に世羅町へUターンして、2008年せらワイナリーに入社。管理運営部に所属し、ワイナリー・公園の業務を幅広く担当。



ショップの試飲コーナーに立つこともある。お客様の好みや要望を聞いてアドバイスすることも

人と接することの楽しさを実感

京都の大学に進学後も「いずれは地元に帰りたい」と考えていた平田吉彦さん。大学を卒業してから大阪で3年働いた後、生まれ育った世羅町へ戻ることに。29歳の時にオープン3年目のせらワイナリーに入社した。「せらワイナリーがとても注目されている時でした。世羅町の中心的な存在となっている場所で働けることに魅力を感じたんです」と話す。

現在はワイナリー・公園全体の業務を幅広く任され、営業から配達、ショップでの販売、ワインの仕込み、イベントの司会まで幅広い業務をこなす。人と接することが好きな平田さんは、ショップで出会うお客様との会話も楽しんでいる。「顔を覚えていて声をかけてくださった時や、一緒に選んだワインに満足していただけた時は本当にうれしいです」と微笑む。

せらワイナリーで働く人のほとんどは世羅町出身。「みんなで地元を盛り上げようと頑張っています。中でも、立ち上げメンバーの馬場常務はスタッフを引っ張ってくれる頼れる存在です。ワイナリーに来てくださったお客様に少しでも楽しい時間を過ごして、いい思い出をつくっていただけるように、スタッフ全員でお手伝いできることが一番のやりがいです」と、充実した日々を送っている。

平田さんの1日

［仕事］

6:00 起床、犬の散歩
6:30 朝食
7:50 家を出発
8:30 朝礼
9:00 デスクワーク、発送作業
11:30 昼食
12:30 工場でワインの瓶詰め
15:00 ショップでワインの販売
16:00 町内の小売店に配達
18:30 退社
19:15 お風呂
20:00 夕食
21:00 TV、犬と遊ぶなど
24:00 就寝

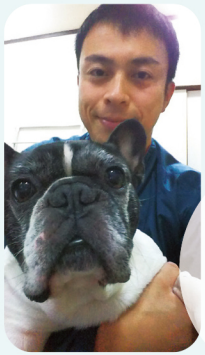
［休日］

6:30 起床、犬の散歩
7:00 朝食
8:00 掃除、家でのんびり
11:00 友人と待ち合わせて、車で広島市へ
13:30 マツダスタジアムでカープ観戦
17:00 世羅町へ戻る
19:00 友人と居酒屋
試合結果を振り返りながら、食べて飲んで盛り上がる!
22:00 帰宅、お風呂
24:00 就寝

カープ観戦で盛り上がる!

平田さんの趣味は、野球やサッカーなどのスポーツ観戦。シーズン中は、友人と広島市のマツダスタジアムまで足をのばしてカープを応援。





愛犬と過ごす癒しの時間

フレンチブルドッグのアンリくんは家族の一員。毎朝の散歩の他、仕事から帰った後も一緒に遊ぶほどの仲良し。

田舎ならではの〝互助の精神〟が魅力です

世羅町は人が温かく、地域のつながりを大切にする町です。地域ごとの行事や集まりも多く、一度都会に出た人からすれば、わずらわしく感じることもあるでしょう。でも、地域の人と強い結びつきを持つことで、困った時に助け合ったり、子どもがいれば地域で守ってくれたり。都会では希薄な〝互助の精神〟があるのは、田舎ならではの魅力だと思います。田舎といっても、世羅町はほど良い田舎。店も一通りそろっているし、福山市や広島市まで車で約1時間半と交通の便もいいんですよ。



生まれ育った地域のために一致団結！

仕事 and 休日の楽しみ方

神石高原町

LIFE

豊かな自然の中で、仕事と子育てに邁進

生まれも育ちも広島市内という福島さんが、介護の仕事場として選んだのは神石高原町。介護支援専門員として仕事に打ち込み、結婚してからも3人の子育てと仕事を両立。それができたのは、職場の先輩方と家族の支え、豊かな自然の恵み、子育て環境の充実のおかげだった。



心強いサポートと人との出会いに感謝

シルトピア油木

施設係長／介護支援専門員

福島佐弥さん（35歳）

ふくしまさや●広島YMCA健康福祉専門学校介護福祉科卒業後、シルトピア油木に就職。結婚後、3人の子育てと仕事を両立。施設係長としての仕事とともに、現場での介護の仕事も担当。



明るく和気あいあいとした雰囲気と、スタッフと入居者同士が気軽に話せる環境づくりを目指している

周囲の協力で仕事と育児を両立

ボランティアに興味があり、祖母に「あんたは話を聞くのが上手じゃね」と褒められたことをうれしく思い、「人の役に立ちたい」と介護福祉士を志した福島佐弥さん。専門学校の実習先がシルトピア油木で、職員らの明るい雰囲気が印象的だったことから就職をここに決めた。就職してからは、職場の先輩から家に招いてもらったり、「ご飯をご馳走するから畑仕事を手伝って」などと折に触れて誘いを受けるなど、何かと可愛がってもらえたという。

現場の介護の仕事に加え、施設係長でもある福島さんは、スタッフのシフト組みなどの業務も担当。スタッフの体調の変化にも気を配り、積極的に声を掛けるように心がけている。

就職して3年後に結婚し出産。勤務シフトが変化することで周りに迷惑をかけないか心配だったが、同居する義母や職場の先輩の助けを借りながら仕事と育児を両立。職場には子育て経験者が多く、相談にのってもらえたことも心強かったとのこと。「ここで良い出会いがあったからこそ、仕事も子育ても両立できていると思います」と、周囲の人々との関わり合いを大切にしながら、福島さんは今日も笑顔で仕事に励む。

福島さんの1日

［仕事］	［休日］
5:00 起床	6:00 起床
7:00 家事、朝食	7:00 家事、朝食
8:30 出勤	9:00 掃除
8:45 朝礼	10:00 家族で福山市内のショッピングモールへ買い物に
9:00 ショートステイ利用者の送迎、ケアマネージャーとしての書類作成業務	13:00 帰宅、昼食
12:00 昼食	14:00 子どもたちと近所を散歩、神石高原ティアガルテンなどで遊ぶ
13:00 入所希望者等の面接	19:00 夕食
16:00 ショートステイ利用者の送迎	20:00 片付け、弁当下ごしらえなど翌日の家事の準備
18:00 帰宅	22:00 就寝
19:00 夕食	
20:00 片付け、弁当下ごしらえなど翌日の家事の準備	
23:00 就寝	

地元の友達とピクニック

地元の友達と福山市の動物園や道の駅でピクニック。親子総勢20人で遠足に出かけることも。





家族みんなで田植えのお手伝い

毎年、ゴールデンウィークは家族総出で実家の田植えをお手伝い。田植えが終わったあとのバーベキューが恒例行事。

自然の中で子育てができ、ご飯もおいしいところです

神石高原町は自然豊かでのどかな地域。社会福祉法人東城有栖会（とうじょうありすかい）で運営している託児所もあるので、仕事と子育てが両立できる環境としては良いと思います。主人の母と弟と一緒に住んでいて、農作業をしながら子どもたちを見守ってもらえるのもありがたいですね。農業が盛んで新鮮なおいしい野菜が多く手に入るのも魅力的です。今は「プライベート＝子育て」で、趣味といえるものはできていませんが、子育てが一段落したら、以前サークルに所属して楽しんでいた和太鼓をまたやりたいなと思っています。



地元で採れる新鮮野菜はサイコー！

笠岡市

仕事 and 休日の楽しみ方

LIFE

GREEN TOOL



縁の下の力持ちとして製造現場を支える

切削工具のリサイクルで、トップを走り続ける

切削工具の再研削で業界トップシェアを誇るグリーンツール株式会社。笠岡市出身の山成さんは「地元の成長企業の一員として働きたい」との思いから30歳のときにこの会社に転職。岡山エリアの営業担当として日々奮闘している。

グリーンツール株式会社
営業部

山成健一さん（40歳）

やまなりけんいち●神戸学院大学を卒業後、日用品を扱うホームセンターに入社。その後、工具商社での勤務経験を経て、2006年にグリーンツール株式会社に入社。岡山県下の営業担当として“切削工具のワンストップサービス”を提案している。



お客様から預かった工具の状態をチェックしながら受注情報をパソコンに入力する



お客様から感謝される、やりがいのある仕事

神戸の大学を卒業後、工具を扱う商社やホームセンターで働いていた山成健一さん。地元マスメディアで取り上げられていたグリーンツールの紹介を見て、「ニッチ産業で大きな可能性のある分野」と語る藤原社長の話に興味を持った。切削工具のリサイクルという未知の分野への挑戦。笠岡市に拠点を置く会社で、落ち着いて働ける環境に魅力を感じ、転職を決意した。

入社した頃はゼロに等しかった知識も、お客様とのやり取りのなかでひとつずつ吸収してきた。「預かった工具を工場に持ち帰って、新品同様の状態にしてお戻しするのが役目です。今では、図面を見ればどういう状態にすればいいのか分かるようになってきました」と話す。

自動車などの製造ラインに欠かせない工具をお客様から預かる以上、納期遅延は許されない。「とにかく休まずに、お客様の元へ届け続けることが求められます。ものを売っているというよりも、お客様の手助けをさせてもらっているという感覚に近いですね。切削工具を通して、ものづくりの一端を担えていることが大きなやりがいです」と山成さん。新しく生まれ変わった工具を手に、今日も待っているお客様の元へと向かう。

山成さんの1日

［仕事］	［休日］
6:00 起床	6:00 起床
7:00 朝食	7:00 朝食 午前中は子どもと近所の公園などで遊ぶ
8:00 出勤 書類の準備や伝票のチェック	10:00 子どもの剣道の試合を見るため家族で外出
9:00 営業まわり 1日15〜20社を訪問	16:00 剣道の試合が終了後、福山市内でショッピングその後、家族で外食
17:30 帰社 受注した案件のデータをパソコンに入力 製造部門の担当者と打ち合わせ	19:00 帰宅
18:30 退社	20:00 読書 月に5冊は新しい本を読む
19:30 帰宅	23:00 就寝
20:00 食事 読書やテレビなどを見てゆっくり過ごす	
23:00 就寝	

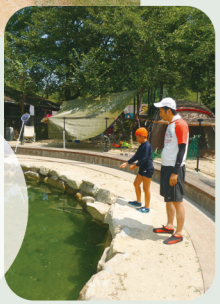
家族でピクニックへ

かさおか太陽の広場や総合スポーツ公園など、大型の都市公園も充実している笠岡市。



長男と釣り

小学校2年生の長男と笠岡市内で釣り。海が近いので休日は海釣りにもよく出掛けている。



生まれ育った地元ならではのつながりを大切にしたいです

よく行く笠岡湾干拓地は、夏はひまわり、秋はコスモスなど、季節感が味わえます。笠岡市は晴れの日が多く、温暖で過ごしやすいです。福山市に近いので買い物にも困らないですよ。プライベートでのつながりが仕事に結びついたりすることもあって、生まれ育った地元ならではの出会いがあるのもうれしいです。子どもが剣道をしているのですが、そこに通っている子の父親が同級生だったり。そういう、地元だからこそのつながりを大切にしたいですね。



環境に恵まれ充実した毎日それが幸せ

仕事 and
休日の楽しみ方

LIFE

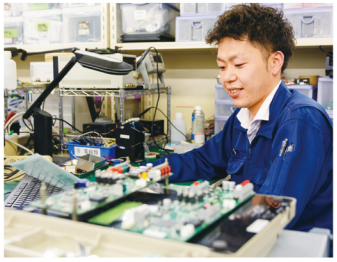
井原市

自分のスキルを生かし、ものづくりに携わりたい

岡山県の南西部、
鴨方町（現在の浅口市）出身の貝畑さん。
岡山理科大学で電子回路システムを学んだ後、
岡山県井原市のタカヤ株式会社に入社した。
多くの仲間に囲まれた貝畑さんの現在の暮らし
と仕事ぶりを紹介する。






完成まで多くのプロセスを踏み、他部署との連携も図りながら製品化を進めていく

タカヤ株式会社
事業開発本部 RF事業部
開発部 開発課

貝畑慶太さん（27歳）

かいはたけいた●岡山理科大学を卒業後、2012年にタカヤ株式会社に入社。家電量販店など、店舗向けセキュリティー機器の開発・設計に携わっている。



次へつながる仕事にするために

地域への愛着が強く、大学も就職先も地元で探したという貝畑慶太さん。「大学で学んだことを生かしながら、ものづくりに携わることのできる仕事がしたい」と、電子機器メーカーのタカヤへの入社を決めた。

「何社か受けたなかで、一番親近感を感じたのがタカヤでした。就職説明会でいろんな部署の先輩社員の方たちと話をすることができたのですが、みなさん笑顔で生き生きと接してくれたのが印象的でした。この会社でなら自分も楽しく働けると思えたんです」と話す。同期入社は5人。うち3人は同じ事業部で、品質向上のために切磋琢磨している。新しいアイデアを生み出すだけでなく、特に求められるのが製品の信頼性の担保。「本当に市場に出していい製品なのか、性能評価試験は徹底して行います。次へつながる仕事にするために、お客様の要望を満たすことはもちろん、安心して使い続けていただけるものを提供することが自分たちの使命だと考えています」。

大切にしているのは、先輩社員の声に耳を傾け、他部署とのコミュニケーションを密にとること。信頼できる上司と同僚に恵まれ、さらなるスキルアップを目指している。

貝畑さんの1日

［仕事］
- 6:30 起床
- 7:00 朝食
- 8:20 出勤
- 8:30 朝礼
- 9:00 デスクワーク
  電子CADで回路を設計
- 12:00 昼休憩
- 13:00 デスクワーク
  社内で製品評価
  ミーティング
- 19:00 退社
- 19:30 帰宅
- 20:00 夕食、入浴など
- 23:30 就寝

［休日］
- 8:00 起床
- 8:30 朝食
- 10:00 掃除、洗濯など
- 12:00 昼食
- 14:00 福山市などで
  妻とショッピング
- 16:00 地元の仲間と集まり、
  体育館でフットサル
- 19:00 帰宅
- 20:00 夕食
  テレビを見ながら
  ゆっくり過ごす
- 23:00 就寝

観光スポット巡り

高校の同級生だった奥様との休日。観光スポット巡りやショッピング、好きなアーティストのライブを観に行くなどして過ごしている。





仲間と集まってフットサル

小学校から高校まで地元のサッカーチームに所属していた。今でも当時の仲間が集まり、体育館を借りてフットサルで汗を流す。

落ち着ける環境で自分の仕事に集中できています

社会人になってから仕事などで県外に行ったときに、改めて地元の食べ物のおいしさや人の温かさに気づかされました。週末は、地元の友達と集まってフットサルをしたり、妻とショッピングや音楽ライブに行ったりして過ごします。落ち着ける環境で仕事に集中できているのはありがたいですね。自分たちが手がけた製品が量販店などで実際に使われているのを見ると「がんばって良かった」と思います。まだまだ分からないことは多いので、目標としている上司に少しでも近づけるよう、先輩方のアドバイスを自分のものにしていきたいです。


仕事もプライベートも充実した日々！